

岩手県立杜陵高等学校奥州校（仮称）開校準備検討委員会（第1回）会議録

日時：平成19年7月31日（火）14:00～16:00

場所：岩手県立水沢商業高等学校 実践室

1 開会

（事務局） ただいまから、第1回岩手県立杜陵高等学校奥州校（仮称）開校準備検討委員会を始めます。なお、本委員会は県の審議会に類する会議として公開することとしております。会議終了後は会議録をホームページ上で公開することとなります。初めに、岩手県教育委員会学校教育室佐々木義孝室長があいさつを申し上げます。

2 学校教育室長あいさつ

（佐々木義孝学校教育室長）

県教育委員会学校教育室長佐々木義孝でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は蒸し暑い中、何かとお忙しい中ご出席いただき誠に有難うございます。第1回岩手県立杜陵高等学校奥州校（仮称）開校準備検討委員会の開催にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。定時制・通信制課程は、従来から勤労青少年に加えまして、近年においては、全日制課程からの転・編入学する生徒やいろいろな事情がございまして、過去に高校教育を受けることができなかった方など多様な入学動機や学習歴を持ち生徒が増えてきております。このような状況の中、夜間に限らず、勤務の形態とか自分の心身の状況にあわせて、自ら学ぶ科目や授業に時間帯を選択することが可能な多部制単位制高校の設置が強く求められております。従いまして、このタイプの定時制高校は現在、杜陵高校に設置されています。平成17年7月に策定した県立高等学校新整備計画、後期計画の中で、全県的なバランスを考慮しながら、すでに久慈ブロックに設置することとしております。胆江ブロックにおきましても、後期計画中の整備に努めることといたしました。その後、胆江ブロックにおいては、旧水沢市や旧胆沢町などから多部制単位制高校の早期設置についてのご要望がございまして、設置場所につきまして現奥州市のご理解とご協力を頂きながら、平成21年3月廃止予定の県立水沢高等看護学院を活用できることとなりました。また、すでに水沢高看近隣住民の方々に対しましては、本年3月に多部制単位制高校設置に向けての説明会を実施し、設置についてのご理解を頂いたところでございます。先進校である杜陵高等学校のノウハウを活用しながら、生徒、保護者、及び地域のニーズに応じた学校づくりを目指して、整備、準備をおこなって行きたいものと考えております。この検討委員会において、委員の皆様方から開校に向けて、様々なご意見を頂戴いたしたいと存じます。よろしくご意見申し上げます。

3 検討委員委嘱及び紹介

鷹嘴文昭高校改革担当課長より委嘱及び紹介

4 検討委員会設置運営要綱について

（事務局） 岩手県立杜陵高等学校奥州校（仮称）開校準備検討委員会設置運営要綱を資料に沿って説明

（事務局） 要綱第5より、委員長は杜陵高校の松岡隆之校長先生をお願いすることとしております。

（委員長） 委員長になりました、松岡でございます。杜陵高校は平成16年度に80周年を迎えました。平成21年度杜陵高校の分校という形で計画されているわけですが、よろしくお願いいたします。要綱により、副委員長は、委員長が指名することになっておりますので、この場で指名いたします。奥州市教育委員会委員長の菅原委員をお願いいたしたいと思っております。菅原教育長よろしく申し上げます。では、委員の皆様は互いにご面識のない方もおありでしょうから、この際、委員の皆様からも順に自己紹介していただきたいと思っております。

《各委員自己紹介》

続けて、事務局も自己紹介をお願いします。

《事務局自己紹介》

5 協議

（議長） 委員長が議長を務めることになっております。進行のご協力をお願いいたします。それでは、これまでの経過報告について事務局から説明願います。

(事務局) それでは、「(1)これまでの経過について」でございますが、後期計画における設置方針ということで、先ほど学校教育室長のあいさつにもございましたが、後期計画では久慈ブロックと胆江ブロックに、全県的なバランスを考慮しながら設置することになっておりました。胆江ブロックにつきましては、「胆江ブロックにあたっては、水沢商業高校の定時制課程、黒沢尻工業高校の定時制課程と杜陵高校の通信制水沢分室を統合し、できるだけ早い時期に設置できるよう、後期計画中に検討を進める。」と明記されております。その後、要望等旧胆沢町、旧水沢市、奥州市等から要望がございました。併せて、奥州市様から数箇所校舎として活用できそうな場所を紹介していただいた経緯がございます。県議会での対応ですが、平成18年10月10日の岩手県議会で「多部制単位制高校の設置について」ご質問がございまして、「県立水沢高等看護学院を再利用し、平成21年4月開校に向けて検討している。」と答弁しております。住民への説明ということで、今年の3月23日ですが、水沢高看近隣の住民の皆様方に対し、多部制高校設置へ向けて説明会を実施し、ご理解を頂いているというところでございます。からまでの経過を踏まえまして、県教委の方向性が出されております。「ア 設置形態」であります。生徒のライフスタイルや心身の状況にあわせて、授業に時間帯を選択することができる普通科の多部制単位制高校の設置に対するニーズが高まっています。夜間のみならず昼間にも授業を開講する2部制の定時制高校を設置することといたしました。後期計画の設置方針を踏まえまして、次のとおり胆江ブロックに多部制高校を整備することとしました。水沢商業高校定時制課程商業科及び黒沢尻工業高校定時制課程産業科を募集停止とする。新たに多部制(2部制)の単位制高校を新校舎に設置し、1年次から募集する。杜陵高校の通信制水沢分室を在籍者を含め水沢商業校舎へ移す。という形で進めてまいりたいという方向性でございます。「イ 学校の体制」でございますが、杜陵高校の分校(多部制の定時制課程と通信制課程を併設する単位制高校、学科は普通科)といたしました。理由でございます。まず、分校の理由ですが、生徒の動向や地域のニーズをしっかりと把握する必要があることから、まず分校でスタートする。続きまして、杜陵高校の分校の理由でございますが、杜陵高校の通信制課程を併設することによって、多様な生徒のニーズに対応できると考えております。また、多部制単位制の先進校であります杜陵高校さんのノウハウを活用することによって、導入がスムーズにできると思っております。「ウ 校舎及び開校年度」でございますが、水沢高等看護学院校舎を改修して活用する。平成21年4月の開校を目指す。「エ 体育施設、体育館やグラウンド等」ですが、体育施設がございませんので、奥州市水沢公園体育施設及び水沢商業高校体育施設を借用する方向で考えております。今回、岩手県立杜陵高等学校奥州校(仮称)開校準備検討委員会の設置及び開催という運びになりました。以上でございます。

(議長) 「(1)これまでの経過について」事務局から説明がありました。委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

(委員) 今の説明の中で、黒沢尻工業高校定時制を募集停止するというお話がありましたが、この件について進んでいるというか、説明されているというか、高校のことは分からないのでお聞きしますが、通学している生徒、学校、父兄に何らかの説明がされているのかどうかお聞きしたい。

(事務局) 昨年度から学校、PTA、教育振興会、同窓会等何回か話し合いをして、基本的には方向性を了承いただいている状況であります。

(委員) 黒沢尻工業高校の生徒数は40名ほどおりましたので、県内でも定時制とすれば多いほうです。働きながら黒工の定時制に通っている生徒は何人いるか分かりませんが、働く場が北上にあって、定時制高校があって、通学にも便利で、ということを見ると、夜間通学するのが難しくなるのではないかと。ただ、今回は夜間に限るのではなく、昼間も授業をするという学校ということですが、それはそれでいいと思います。けれども、夜間の部を考えている生徒にとって通学しづらいのではないかとその思いをします。それがうまく説明されて、了承されているのであればいいのですが、疑問に思いました。

(事務局) 確かに人数も多いですし、勤務先等北上市にはたくさんございますが、生徒の実態等を見ますと、勤労学生も年々減ってきていることも事実でございます。そのようなことを踏まえまして、黒工の校長先生と協議しながら地域を支えている振興会の皆様方と意見交換しながら、そのような形で行くことで了解をもらっているということでございます。

- (委員) 夜間通学する場合、駅から自転車ですぐ掛かるものでしょうか。
- (事務局) 5分から7分ぐらいでございます。北上から電車で通学できると思っております。
- (議長) 今、県の方から初めて提案されておりますので、できるだけ分からない部分は質問していただきたいと思っております。
- (委員) 学校の体制というところで、杜陵高校の分校でということについてはここで分かったのですが、私の杜陵高校という学校についての認識としまして、内容は学科ではなかったような気がしています。そこで、工業と商業と杜陵高校という3つのコースになるのかなと思ったのですが、その辺の編成はどうなるのでしょうか。
- (議長) 分校になる場合の学科ですね。
- (事務局) 水沢商業の商業科と黒沢尻工業の産業科の定時制課程は募集停止になります。ここはいろいろ議論があったようですが、全日制も定時制も含めて全体で65%の生徒のニーズが普通科ということもありまして、そこに集約したという形になっております。
- (委員) 普通科だけということですね。
- (事務局) そのとおりであります。
- (委員) 例えば、普通科であっても、通信制があり、昼間部があり、夜間部あり、全部普通科ですよ。
- (事務局) はい、そのとおりです。
- (委員) 定員はどのくらいを予定していますか。
- (事務局) 現時点では、昼間部1クラス40名、夜間部1クラス40名。それでスタートして行きたい。
- (議長) 教育体制については、この後でまた出てまいりますので、そのときにでもお願いします。それでは以上にいたしまして、次に移りたいと思っております。「(2)校名について」をお願いします。
- (事務局) 「校名について」でございますが、杜陵高校の分校となりますので、校名は「岩手県立杜陵高等学校 校」となります。校名候補の選定につきましては、2つの方法があると考えております。「検討委員会で検討し、校名候補を1つまたは複数に絞り、県教委に報告する。」という方法と、「公募を行い、校名候補をいくつか絞り、県教委に報告する。」という方法の2つがあります。委員の皆様方のご意見を伺いたいと思っております。
- (議長) 校名についてのご説明でしたが、ご質問、ご意見があればお願いします。2つの方法があるということですが、どちらがよろしいのでしょうか。検討委員会で1つの方法に絞った場合、その後の日程はどうなりますか。
- (事務局) 日程等につきましては、委員会でご意見を伺いまして、その後、検討チームがございまして、委員会で頂いたご意見をさらに検討し、ある程度案を絞り、また、検討委員会にご報告申し上げ、検討いただきたいと考えております。その後、県に報告するという日程でございます。
- (議長) 今日、かかの方性を出してもらったほうが、よろしいのですか。
- (事務局) できればその方がよろしいのですが、検討委員会でいろんなご意見をいただいて、検討チームへ降ろして行きたいと考えます。
- (議長) 検討チームでも、このことについて話し合うということによろしいですか。
- (事務局) よろしいです。
- (議長) そうしますと、1つに絞らなくても、このような意見が出たということによろしいですね。
- (事務局) はい。
- (議長) 検討チームで違う形が出る場合もあるのですか。例えば、今日の会議で「が良い」という意見が出て、その後、検討チームでは「が良い」ということも考えられますか。
- (事務局) そのときは、2回目の検討委員会のところで、ご意見をいただきまして、取りまとめたいと考えます。
- (議長) はい、それでは、校名について「と」の方法があるようですが、どうぞご意見を出していただきたいと思っております。
- (委員) 先ほどの説明で、当面、岩手県立杜陵高等学校の分校というふうに伺いましたが、それで結構ですか。それとも、いつか何か条件が変わってくれば、校名が例えば岩手県立奥州

高等学校とかになるなど、分校という名称が無くなるということもありますか。

(事務局) その件につきましては、少子化で、学校全体が少なくなっている傾向がございます。一方、ご説明申し上げました多様な生徒に対応する学校を整備して欲しいという声も多くなっております。当面という表現を使いましたが、最初はノウハウのある杜陵高校さんの助けを受けながら、分校の形でスタートして、生徒の志願状況、応募状況その他を何年か見て、もしかすると非常に需要が多いということになれば、独立校にするという方向も検討しなければならない可能性はあるということでもあります。

(議長) 当面分校という形ですが、志願状況等を見て、独立校も考えるということですか。めどはあるわけですか。

(事務局) きちっとした目処はこれから検討するということですか。数年推移を見なければならぬと思っております。

(議長) 「杜陵高校の分校として進める。」ということですが、校名について がよろしいでしょうか。 がよろしいでしょうか、いかがですか。

(委員) 所在地の名前を使っているところが多く、私は の案で、仮称を取った奥州で、これでもよろしいと思います。検討委員会で方向性を示して、検討チームもありますので、 の公募するということになると時間も手間もかかると思います。単純に考えて、所在地でいいなと思っております。 の方向でよろしいと思います。

(議長) の案がよろしいというご意見ですが、その他いかがでしょうか。また、所在地をつかうのが良いのではないかというご意見ですが、いかがでしょうか。

(委員) 科も普通科ということですので、今のご意見でよろしいのではないかと思います。すっきり、分かりやすいのかなと思います。

(議長) それでは、ということでもよろしいでしょうか。それでは、検討委員会としては の方向で進めていくということで、取りまとめたいと思います。なお、この後検討チームの会議があるわけですが、同じように と の案を出すわけですか。

(事務局) 検討委員会のご意見を尊重しながら、 の方向で進めてゆきたいと考えます。

(議長) の方向でということですが、検討してもらうことは行うのですね。

(事務局) はい。

(議長) 分かりました。検討チームの会議には、「 の方向でという話があった。」ということをお願いいたします。続きまして、(3)の教育環境についてお願いいたします。

(事務局) まず、校舎の件でございます。現在水沢高看である校舎を改修して使用するというところでございます。既に耐震診断は終了いたしまして、診断結果を待っているところでございます。その状況をみながら、設計等を行い、改修工事は来年9月ごろからの予定でございます。工事中、水沢高看の授業が行われますが、日程を調整しながら、支障がないように進めてまいりたいと思っております。校舎の脇に寄宿舎がございます。寄宿舎を解体して、駐輪場や駐車場に使用していきたいと思っておりますが、保健福祉部が管轄しておりますので、調整を図りながら、進めてまいりたいと思っております。次は体育施設でございます。水沢高看には体育施設がございません。そこで、体育の授業、学校行事、部活動等は近隣の体育施設を借用しなければならないという状況であります。現在考えられる施設ですが、水沢公園内の体育施設ということで、約300m離れております。徒歩で5分程度と思っております。また、水沢商業高校の体育施設ですが、約1200m離れております。徒歩で20分程度と考えられます。資料1で地図をご覧ください。問題は、移動の際の安全面、時間的な面がございまして、できる限り、奥州市の方をお願いいたしまして、水沢公園内の体育施設を借用をお願いするという方向で考えております。理由でございますが、多部制定時制の午後部です。水沢商業高校の授業と部活動と重なります。この時間帯は是非水沢公園内の体育施設をお借りしたい。夜間部につきましては、現在水沢商業高校の体育施設を借用しておりますが、夜間の移動ということで、安全面で不安があるということがございます。できれば、水沢公園内の体育施設をお借りしたいと思っております。通信制はスクーリングの日、日曜日でございますが、体育の授業がございまして、体育施設を借用することとなります。現在水沢商業高校の体育施設を朝の50分間と昼の50分間を借用していると話を伺っております。移動することになりますと、生徒約100名近い、2学

年ずつ移動すると想定しておりまして、様々な生徒がおりますので、移動距離、移動の際の安全面、時間等の課題があると考えております。次に、通信制課程の課題ということであげておきました。通信制課程を新校舎へ移すということで進めておりますが、次のような課題があると考えております。「ア 水沢商業高校体育施設を借用する場合、移動時の安全確保が必要である。移動の時間がかかる。借用できる時間が限られている。」次に、「イ 様々な生徒さん方がおりまして、個別指導が行われている。それに伴いまして、小教室の確保が必要である。」限られた施設の中で、どれだけ確保できるかが、今後の検討課題になると思っております。「ウ 生徒が車で通学している。約20から30台ぐらいと伺っております。駐車場の確保ができない。」また、「エ 通信制の職員が入ることができるような職員室の広さを確保が必要である。」このような課題がございまして、「課題の対応策が不十分な場合には、現在のまま水沢商業高校に置くことも視野に入れている。」ということでございます。以上でございます。ご意見を伺いたいと思っております。

(議長) 教育環境について説明していただきまして、いろいろか課題があるようでございます。要望等を出してもらおうのがよろしいと思います。実現できるかどうかは別にして、ご意見等出していただきたいと思っております。

(委員) 教育環境について、ハード面を中心に説明していただきましたが、もっとも大切な部分ではあるわけですが、水商の定時制の生徒を見ると、子どもたちにとっての最大の教育環境というのは、教員そのものです。県の制約や事情を十分に存じあげながら、あえてお話しているわけですが、教員配置について、ぜひとも子どもたちにとって大切なことであり、適切な配置をお願いしたい。もう1つは商業高校の教育の中身を、普通科であれ、継承していただきたい。資格取得、スキルアップ、ライセンスということにあっては、日本共通のライセンスでありますので、それに対する生徒の学習に対するモチベーションは高い。そういった意味で、簿記をお願いしたいし、資格取得ができるようなカリキュラムを考えて欲しい。商業科の教員もスタッフの中に加えていただければなと思っております。

(議長) その他、出していただきたいと思っております。

(委員) 今お話しされたことは、この学校を希望する生徒にとってはもっとも大切なことだと思います。通信制のところに書いてありますが、個別指導が必要な生徒のための小教室の確保ですが、定時制の子どもにとっても必要であると思っております。心を込めて対応してくれる先生方が欲しいと思っております。さらには、子どもたちは資格が取れるということをとっても喜ぶます。意欲を上げるということのために、是非そのようにしていただければなということでお話しておきます。体育施設のことについては、確かに水沢公園内に水沢体育館がございまして、そこは今、社会体育の方でほぼ入っております。全部入っております。一番便利な場所ですので、普段も使われているところでございます。そういうことを考えますと、今年のうちから「こういう時間帯は使いたいのだ」ということを言い始めておかないと、今までずっと使ってきた団体が「なんと云うことだ」ということになりかねない。そういうことで、「時間割の中に体育の時間をどのように位置づけて行くのか」ということを早く決めておかないとだめだろうと思っております。私たちとしてはご協力はする。これはそのとおりでございます。ただ、かなり難しい要素があるということをご理解いただきたい。

(議長) 午後部と夜間部がありますが、どのような時間帯で考えておりますか。

(事務局) 生徒の時間表を例ということでお示しておりますが、この時間帯で考えるとすれば、昼間部は3・4時間目、引き続き部活動の時間を確保して、夜間部は1・2時間目をもってきまして、ある程度時間帯を絞ってお借りするという形を今のところイメージとして描いております。

(議長) これは、毎日ということではないですね。週に何回という固定した形ですか。

(事務局) 来年度は1年生からのスタートになりますので、授業では週に2回程度と思っております。週3時間ですので、2時間連続と1時間という形を考えております。部活動はどのような状況になるか分かりませんが、部活動もある程度確保して行きたいと考えております。

(議長) 奥州の教育長様、前もって打診しておけば何とかなるものでしょうか。

(委員) 昼間部の方は何とかなりそうですが、夜間部の時間帯はしっかり入っておりますので、

きついただろうと思っております。しかし、そういうことで「だめだ」とはしないと思しますので。広いですので、半分使用するというのであれば、少しは解消すると思っております。

(議長) 新校舎から体育館まで、歩いてすぐでしょうか。

(事務局) 5分ぐらいです。

(議長) その他いかがでしょうか。教育環境ということで、水沢高看の校舎を改修して使うということですが、部屋の的にはどうなのでしょう。芸術はどうなりますか。

(事務局) 今のところは、おおまかな案であります。1階には化学実験室、調理実習室、コンピュータ室、小教室、保健室、会議室これは小教室としても使いますが、及び職員室等を考えております。2階は教室4つ確保します。さらに、図書室、進路室、講堂があります。講堂は比較的広いので、可動式の間仕切りを設置していただきまして、小さく使ったり、あるいは広く使ったりという形で、今のところ考えておりますが、これから詰めてまいりたいと思っております。

(議長) よろしいでしょうか。ご質問ご意見があればお願いします。イメージできない部分も結構あるのではないかと思います。これから現場の先生方が入った検討チームの会議がありますので、ここではいろいろな要望が出されるのではないかと思います。通信制課程について特に書いてありますが、水沢商業高校にそのままということも視野に入れるということで、皆様了解していただいてよろしいでしょうか。はい。それでは、「教育環境について」事務局から説明をお願いします。

(事務局) まず、教育コンセプトについてです。多部制単位制及び通信制の高校への進学を希望するであろう生徒のニーズを踏まえて、目指す生徒像や教育理念を検討して参りたいと考えております。目指す生徒像ということで3つほどあげておきました。「1 自ら個性・能力を伸ばし、夢や目標に向かって努力する生徒 2 コミュニケーションを図りながら、豊かな人間関係を築ける生徒 3 自己の生き方や進路について、主体的に考え、行動する生徒」ということであります。それに伴いまして、教育理念でございますが、「1 一人一人の能力に応じたきめ細かな指導を行い、基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、個性・能力を伸ばし、夢や目標に向かって努力する生徒を育成する。」ということで、きめ細かな指導にポイントをおきたいと考えております。あせらずじっくり、基礎基本を確実に身に付けて行くということで考えております。「2 基本的な生活習慣を身に付け、様々な交流を通じて、豊かな人間関係を築ける生徒を育成する。」いずれ社会に出て行くのですが、生きて行くうえでの最低限のマナーを身に付け、ある程度厳しい指導も必要であると考えます。あいさつ、感謝の気持ち、時間や約束を守るというところを、きちんと指導しながら、様々な交流を通じて、異年齢間の交流とか地域の方々との交流などを深めながら、豊かな人間関係を築けるよう育成してまいりたいと考えております。「3 地域との協力のもと、体験的な活動及びキャリア教育の充実を図り、望ましい勤労観・職業観を身に付け、主体的に考え、行動できる生徒を育成する。」ということで、近くには介護施設、町の駅等がございますので、そういうところを活用しながら、地域との交流を深めて行ければと思っております。併せて、キャリア教育が様々な場面で行われており、それを活用しながら、望ましい勤労観・職業観を身に付けてもらえればと思っております。かなり厳しい制約のある教育環境ですが、多様な生徒の多様な学習ニーズに応える学びのシステムを作ることが求められると考えます。そのためには、地域との交流が大事であると考えます。併せて、定時制・通信制がありますので、課程を超えて、教員間の交流等も考えているところでございます。参考として、杜陵高校の教育目標を書いておきました。これを踏まえながら検討してまいりたいと考えます。次に単位制でございますが、単位制というのは、学年による教育課程を設けないことができるものでございます。学年の区別がなく、自分のペースで学習に取り組むことができることとなります。学年制ではなく無学年制すなわち1年次、2年次というような年次制になります。単位制の特徴は可能な限り選択科目、開講する科目を多くすることによって意義があると考えます。限られた施設ではございますが、できる限り開講する科目を設定しながら、単位制の魅力を出して行きたいと考えます。次に、多部制定時制課程でございますが、午後部と夜間部の2部制になります。四修制を基本にいたしますが、3年でも卒業できるという三修制も可能にするという考え方でございます。ま

た、通信制の併修も可能にすることによって、様々なバリエーションが考えられます。次に4つのパターンを書いておりますので、ご意見を伺いたいと思っております。1単位時間ですが、普通は50分でございますが、50分では無理があると判断しております。1単位時間45分の方で進めて行きたいと考えております。パターン1は四修制を基本としますが、三修制のコースを設けるといことで、午後部・夜間部とも三修制さらに通信併修による三修制を設ける案であります。これは、多様な生徒の希望に応えることができ、魅力があると思います。この形態ですと、午後部・夜間部のところで重なる時間があります。その時間帯で合併授業とか平行して開設し、授業を行うことが多くなります。それに伴いまして教室の不足が考えられます。教員の負担も大きくなります。そうなりますと、個別指導が必要な生徒への対応が十分に取れないのではないかと考えております。パターン2ですが、午後部は四修制を基本にしながら三修制も設ける。夜間部は四修制を基本にする。そして、通信併修によって三修制も可能であるというパターンであります。これですと、夜間部は勤労青少年を対象にできる。働きながら学ぶ生徒を対象に考えているということになります。午後部の多様な生徒には対応できると考えております。デメリットとして、午後部・夜間部が重なる時間が出てきます。教員の負担も大きくなりますが、課程を超えて交流ができればある程度対応できると考えております。パターン3ですが、午後部は三修制だけにします。夜間部は四修制で、通信併修による三修制も可能にするパターンでございます。総合学習、LHRを午後部・夜間部合同でできる。体制を作るのに作りやすいと考えます。午後部が三修制に固定されますと、多様な生徒の希望に対する対応が不十分ではないかと考えます。午後部の生徒でも四修制で、ゆっくりじっくりゆとりを持って修得したい生徒がいると思われれます。最後にパターン4ですが、午後部・夜間部とも四修制だけで、通信併修による三修制が可能になるパターンでございます。これは比較的ゆとりのある体制が取れるものだと考えます。午後部・夜間部の合併授業がございません。ある程度選択科目の開設が可能と思われれます。個別指導への対応もできます。デメリットといたしまして、多様な生徒の希望に対応できず、魅力に欠けると思っております。今のところ4つのパターンを考えておりますが、メリット・デメリットがございます。委員の皆様にご意見を頂いて、それを受けて、検討チームでさらに検討して行きたいと考えております。続きまして、通信制課程でございますが、添削指導（レポート）と面接指導（スクーリングと呼ばれておりますが）この2つが基本になっております。スクーリングは日曜日行っております。さらに、三修制を希望する生徒のために、平日の週2回ですが、午前中スクーリングを行っていると同っております。今後もこのような体制で継続してということと考えております。最後に、部活動でございますが、現在水沢商業高校定時制は授業終了後の21:10から30分程度、バスケットボール、バドミントン、卓球、陸上等活動していると伺っております。通信制の水沢分室は、スクーリングの日ですが、15:50~17:10の時間帯でバレーボール等を行っていると同っております。新校舎は体育施設がございませんので、借用しながら、実施できるもので部活動の活性化を図って行くと考えております。検討チームでさらに検討してまいりたいと考えております。

（議長） 教育体制について説明がありました。質問・ご意見を出していただきたいと思っております。から のパターンがありますが、物理的に難しいというのはどれなのでしょう。物理的に大丈夫だというのはどれなのでしょう。

（事務局） 施設面とか教員の配置等を考えますと、 のパターンはかなり厳しいと考えます。工夫すればやってやれないことはないと思っておりますが、かなり厳しい。 のパターンですと、夜間部が四修制だけですので、比較的対応できると考えます。久慈長内校さんが来年度多修制になるということ、進めておりますが、長内校さんは通信制がございません。かなり無理をお願いして、どちらも三修制、四修制対応できる形で計画しております。奥州市の場合は通信制がありますので、この通信制を活用して、三修制を可能にするということが可能ですので、多様な制に対して、個別指導への対応を考えれば、個人的には のパターンがよしいと思っております。 のパターンは一番ゆとりがあって、生徒個々にじっくりゆとりゆとり対応できると思っています。昼間部に通学する生徒のなかで、三年で卒業したいという生徒さんもいると思っております。以上ですが、いろいろご意見を伺いたいと思っております。

- (議長) 4つのパターンの中では、物理的には 良いのではないかと話がありました。いかがでしょうか。ご質問ご意見お願いします。
- (委員) 私自身が分からないところがありますが、四修制と三修制を杜陵高校さんはやっているのですか。
- (議長) 杜陵高校は単位制で選択制ですので、三修制でできる形になっています。県内の定時制は三修制を行っているところがありまして、少し早めに学校に登校している。
- (委員) そこで、三修制を取っている子どもたちの中で、昼間に仕事を持っている子どもはどれくらいいるのか。
- (議長) 6,7年前から三修制がスタートしていますが、県内10校ある内、8校ぐらいは三修制を実施している。仕事を持っている生徒はそれほど多くはないです。
- (委員) 無職の生徒が多いという認識ですか。
- (議長) はい、そうです。三修制を受けている生徒は多くても5,6名。少ないところは1,2名というところですよ。水沢商業さんは三修制はいかがですか。
- (事務局) 定通併修で三修制を行っております。
- (議長) 何名くらいおりますか。
- (事務局) 35名中5名です。
- (議長) そんなに多くはないですね。通信制課程のことについて、何か、質問、意見ございますか。
- (委員) 自分のペースで、行きたくないときは休む。通信制課程の週に1回学校に登校するか、それとも毎日登校するかは、最終的には自分で選択することになると思う。その生徒の様々な状況・状態によるのでないか。
- (議長) 通信制は、添削指導と面接指導とテストとあるのですが、面接指導をスクーリングと呼んでおりますが、週1回スクーリングがございまして、本校では日曜日のほかに月と水の3日間行っております。その内から1日を選ぶ形にしております。働いている生徒で、日曜日以外に登校する生徒もおります。現在は個別指導を盛んに行っています。次に、部活動について書いてありますが、このことについて、ご質問、ご意見がございましてか。
- (委員) 短い時間でしかできないのですよね。子どもたちにスポーツをさせる環境作りが大切である。地元のクラブチームなどと一緒にやって行くとか、検討したほうが良い。
- (議長) 夜間部の部活動の時間はどうですか。
- (事務局) 昼間部と夜間部になりますので、想定していることは、一緒に部活動を行うということです。例えば、16:30~17:15までとかであります。
- (議長) 場所は。
- (事務局) 水沢公園内を想定しております。
- (委員) 部活動となりますと、やはり指導者がきちっとついて、そして、指導できる方がついて欲しいと思います。
- (議長) その他、ご意見、ご要望があればお願いします。
- (委員) この間の全国定通の発表会では、全日のクラブと合同でやっているという事例発表がありました。全日の方も部活動の活性化に繋がっているという話もあり、できるかどうかわかりませんが、時間帯が一致して、限られたクラブであれば、そういう可能性もあるのではないかと。1つのアイデアです。
- (議長) 部活動について今お話がございましたが、そのほかの課外活動等は水沢高看の施設内で行うことになるわけですか。
- (事務局) 学校行事関係で、体育施設を使用するのであれば、早い段階で日程等をおさえていただいて、借用するという方法で考えております。
- (委員) 体育施設が話題になっておりますが、将来的には、体育施設を作るような予定はありますか。
- (事務局) 22年度末までは、今の高校再編計画の大規模事業でかなり厳しい状況にあると伺っております。23年度以降、新たに大規模事業の見直し等の計画があるやに聞いておりますので、財政当局の方と詰めながらということで、ここでは今の段階では、「作りますよ」とは言えない状況であります。

- (議長) 当分の間、水沢高看の校舎になるのでしょうかけれども、これが長くなると大変ですが、いかがでしょうか。
- (事務局) 何年か経って、ある程度の応募状況等でそれらのニーズを見ながら、ということになると思っております。
- (議長) その他ございませんでしょうか。それでは、次に進めさせていただきます。その他お願いします。
- (事務局) 平成21年度入学者選抜の会場でございますが、新校舎の使用は、完成いたしましても水沢高看の卒業式が終了しないことには引き渡せないという状況であります。入学者選抜につきましては新校舎で実施できないと考えております。水沢商業高校をお借りして実施する予定でございます。
- (議長) 分かりました。何か質問等ございますか。よろしいでしょうか。それではこれで協議は終了ということになりましたが、なかなかイメージができない部分もあったのではないかと思います。この後、現場の先生方が入った検討チームの会議で、同じように検討されます。いろいろな意見が出されると思います。それでは、全体として何かあれば出していただきたいと思っております。以上で、協議は終了させていただきます。

6 その他

- (事務局) 有難うございました。その他です。
- (事務局) 次回の日程ですが、11月6日か7日を考えております。今後日程調整をいたしますので、よろしく申し上げます。
- (事務局) その他委員の皆様方から何かございますでしょうか。
- (委員) 今日は具体的なお話をしてきましたので、少しイメージができてきたのですが、実は宮下地区の町内会の方で、「困った学校ができる」というお話を頂いています。「そうではないのだ。いろんな子どもたちがいて、いろんな子どもたちに勉強の機会を広くあたえるのだ」ということをお話しても、理解をしていただくのは難しいような気がいたします。「バイクで音を立てて来るのではないか」とか心配している。どうぞ、「夢のある学校である」ということをコマーシャルしていただきたいと思っておりますので、素敵な夢のあるパンフレットを作ってください、お願いしたいと思います。
- (事務局) 今のお話承りました。有難うございました。閉会に先立ちまして、佐々木室長があいさつを申し上げます。
- (佐々木学校教育室長)

まずもって、議長を務めていただきました松岡委員様、有難うございました。委員の皆様方におかれましても、なかなか分かるような資料を準備せずに、ご意見等を伺いまして、困惑なされた委員様もいたかと思っておりますが、貴重なご意見を頂きまして有難うございました。この後検討チームもございますので、教育環境とかカリキュラムとかについては具体的に検討いたしまして、皆様方のご意見を頂いて、またもち帰って、検討するという形で進めてまいりたいと思っております。今、奥州市の教育長様からお話が合ったとおり、心配事があるということですが、私も2年間水沢教育事務所に勤めていたときに、定時制通信制の発表がございまして、大変すばらしい発表でございました。その中で、共通していた話題ですが、「職場の理解があった。そして、家庭の協力があった。学校の仲間の絆がきちっとできた。」との話があり、学びたいという方々が通っているということを奥州市民の方々に理解していただきたいと思っております。バイクや車の騒音とかマナーとかありますが、学校で責任を持って指導します。北上や一関等から通学できます。学びたくても学べない方もいるかと思っております。いつでも学ぶことができる体制を作っておく必要があると考えます。お年を召した方、10代の方、人間関係とかで途中で断念した方など資料を準備しておきます。ご要望等がございましたらよろしくお願いしたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。有難うございました。

7 閉会

- (事務局) 以上をもちまして、第1回検討委員会を閉じさせていただきます。有難うございました。